

杜をわたる風

～北杜高校だより～

ホームページアドレス <http://www.kai.ed.jp/HOKUTO>

本誌は北杜高校の広報誌です。ホームページ上でもお読みいただけます。

TEL:0551-20-4025 FAX:0551-32-3194

山梨県立北杜高等学校



平成30年度入試情報

◆ 前期募集選抜方法

(1) 募集定員に対する募集率
普通科 30%以内(理数コースも同様) 総合学科 35%以内

(2) 出願の条件

- ①条件A 志願してほしい生徒像に一致し、中学校の学習活動において優れた成績を修め、入学後も継続して努力できる者。
- ②条件B 志願してほしい生徒像に一致するとともに、スポーツまたは文化活動において顕著な実績を有し、入学後も継続して意欲的に活動する意志がある者。

(3) 選抜資料比重

区分	調査書	面接	所見	特色適性検査	特技	個性表現	備考
普通科条件A	45	30	5	20	—	—	
総合学科条件A	45	30	5	20	—	—	
普通科条件B	35	20	5	—	20	20	前期募集定員の2/5程度
総合学科条件B	35	20	5	—	20	20	前期募集定員の2/5程度

※調査書の「学習の記録」「特別活動の記録」等については第1学年から第3学年までを対象とし、「学習の記録」については、各学年の成績を平等に評価し、国語、社会、数学、理科、英語については評定をそれぞれ2倍、その他の教科の評定を1倍する。

「文武に活発な「学びの杜」を目指して」5代校長 浅川 英三



本校は一昨年創立100年を迎え、長い歴史を誇るこの地域の伝統校であります。今、本校を取り巻く環境は、少子化に伴う生徒数の減少が著しく、大変厳しい状況にあるといえますが、今年度も222名の新入生を迎えて、全校で700名余が在籍する高校としてスタートしています。本校の教育の基本方針は、「地域を担い、ふるさとを創造していく人材の育成」を掲げており、この目標実現のため、様々な教育活動を展開しております。総合学科と普通科を併設する総合制高校として、その特徴を十分に活かし、各方面と連携を図り、

特に、高齢化が顕著となるこの地域の課題や魅力等について学ぶ機会を設けるとともに、将来この地域を支え、活躍する人材育成に繋がる学習活動を行っています。

一方、運動部や文化部など生徒会活動にも積極的に取り組んでいます。今年度は県高校総合体育大会において、スキー・山岳部は、スキー競技、山岳競技ともに優勝し、また、サッカー部においては私学の強豪を撃破し、決勝戦の舞台では、健闘及ばずながら準優勝の成績を納め、剣道部、バスケットボール部、卓球部なども上位入賞を果たした結果、男子総合得点で第5位となる素晴らしい活躍でした。また、文化部においても、毎年全国大会で上位の成績を納めているギター部や放送部、西関東大会に連続出場を果たした吹奏楽部など大変活発に展開しています。このように、学校生活全般において、学習や部活動の両立に努め、文武に活発な「学びの杜」の構築に、生徒・教職員一丸となって取り組んでいるところであります。

パラリンピアン講演会

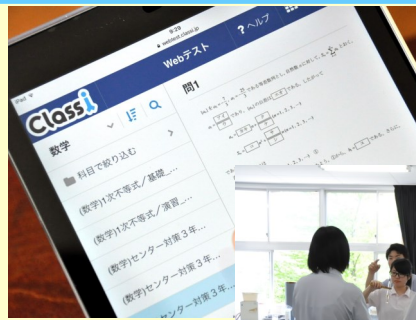


今回の市政報告会と講演会では、私たち学生はどのようなことをして社会に貢献していけるのかを考えさせられました。市政報告会では、北杜市で活躍された方々や活動内容を知り、講演会では今の自分にしかできないことを見つけることの大切さを知りました。私は北杜市長さんやパラリンピック出場の鈴木徹さんの話から、学校生活の中での自分に任された役割や、様々なボランティア活動に積極的に参加するなど、自分が最大限に出来ることを見つけ、行動に移していくことが大切だと学び、これからの将来に活かして行きたいと思いました。(2-4 藤盛瑞穂)



普通科の紹介①

北杜高校普通科は、大学への進学を中心とする幅広い進路に対応できるよう、きめ細やかな指導とカリキュラムを備えています。国公立大学へは、毎年山梨大学、山梨県立大学、都留文科大学などに合格者を出し、京都教育大学など県外の難関と呼ばれる国立大学にも合格者を出しています。大学、短期大学への進学は約65%であり、専門学校を含めるとほとんどの生徒が上級学校に進学をします。各学年毎の進路ガイダンス、保護者対象の進路ガイダンス、また1年生の普通科生徒・保護者対象に進路説明会も行い、その学年に適した進路学習を行っています。土曜講座や夏季課外、宿泊学習会、登校学習会など、学力向上に向けた様々な取り組みも行われています。理数コースでは昨年度から最新のICT教育ツール「Classi」も導入しました。より意欲的かつ効果的な学習につながっています。



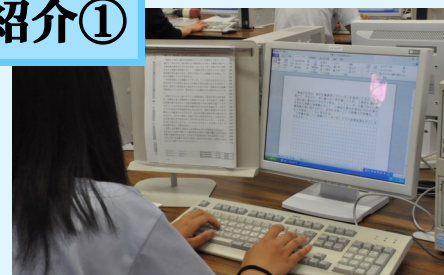
生物資源系列

生物資源系列は、作物生産の実践を通して農業の社会的な意義や役割や、食と農に関する基礎基本を学習します。資格取得に関しては、国家資格である装飾園芸技能士、フラワー装飾技能士、民間資格ではMOS検定の資格取得が可能です。また、高校で学んだ農業の知識を確認する意味でも、系列生徒全員が日本農業技術検定の資格取得にチャレンジしています。系列必修科目は、2年次では「農業と環境」でスイカとハクサイの栽培をし、調査などをしながら、プロジェクト学習の基本を学び、3年次では2年次からの継続履修で、「草花」「野菜」「果樹」の更なる専門的な知識や技能を身につけます。

自由選択科目では、栽培から食品加工までを一環教育する「食品製造」、生花を使用して多彩にデザインする「フラワーデザイン」、地域の小学生と農業体験を共にし、コミュニケーション能力を育む「グリーンライフ」、様々な角度から生物を活用する「生物活用」など、幅広く農業の学習をすることができます。また、地域還元として、栽培した農作物を販売する実習や、各地域に花の植花活動も行っており、地域とのつながりも大切にしています。こうした様々な活動を通して、「生きる力」を育む系列です。



系列の紹介①



総合情報ビジネス系列

総合情報ビジネス系列は、自分の進路に合わせた科目を学び、簿記会計の知識、情報活用能力やマーケティング活用能力などを身に付けます。有資格や学科枠特別推薦入試を活用し、経済・経営・商学系の難関大学への進学や、地域のニーズにあった生徒の育成を目指しています。また資格取得にも力を入れています。平成28年度は全商1級6種目が4人、5種目8人、4種目3人、3種目10人と3冠以上取得率が2年連続70%を越えました。多くの先輩たちが日々の授業を大切に、放課後等を使って目標に向けて文武両道で頑張っています。

今年度は、山梨県高等学校商業実務競技大会電卓の部で団体優勝、さらに簿記の部では個人で入賞し、それぞれ全国大会出場を決めています。また北杜市の活性化に向けての取り組みを計画、実践する中で地域の実態を知るとともに多くの人との『つながり』を大切にしています。





進撃のサッカー部 総体準優勝！！

こんにちは！私たち北杜高校サッカー部は第69回高校総体兼関東大会予選を準優勝で飾ることができ、関東大会の切符を手に入れました。北杜サッカー部にとっては初の決勝の舞台であり、新たな歴史と伝統を作ることができました。しかし、これまでの道のりは決して簡単なものではなく、今大会でも昨年度と同じ条件で山梨学院高と対戦することになり、多くの先輩方の願いやプレッシャーの中、部員80名が一つになり見事勝利をつかむことができました。私たち部員を熱心に指導下さった小泉先生、応援下さった校長先生をはじめとした諸先生方や地域の方々など多くの支えがあったからだと思えます。そのことに感謝し、さらなる歴史と伝統を築き上げるため、これからも挑戦し続けます。(主将 小菅一聡)



スキー・山岳部、春夏高校総体優勝までの取り組み

走り、筋トレ、これが毎日の練習です。同じ練習で単調かと思いますが、この単調な日々には大きな意味があったのかもしれませんが、2年前、現3年生は新入部員として入部しました。それまでは、「走る」という習慣などなかった生徒たちです。そんな生徒たちが、毎日走り、時には膝や足が痛くなったり同じ練習で飽きてしまったりしたこともありましたが、毎日走り続けました。グリーンシーズンは山を走り、ウィンターシーズンにはクロスカントリースキーで走りました。2年生になり、高校総体登山競技に初めて出場。結果は4位。1年前に比べると見違えるほどの体力はつきましたが、それでも上位校には届かず、またトレーニングの日々が続いていきました。やっぱり毎日走り、走る時間も最低でも1時間以上、長いときは2時間以上。試験期間中も自主的に走り、雨でも走り、雪のときは喜んで走り、昨年の夏には北アルプスへ行き、標高3000mの山々を12時間走るトレーニングもしました。今年の4月に部の名称がスキー・山岳部に変更され、2度目の登山競技に出場しました。体力を競うタイムレースでは気迫あふれる走り、標高1800mの峠に念願の1番でゴール。その後の読図や学科試験等でも大きなミスもなくタイムレースの差を保ったまま初優勝を飾ることができました。3年目にして目標を達成することができました。そして、我々が閉会式の後思ったことは「最大の強みは、目標を持って続けてきたこと」ということだけでした。(顧問 山本健一)



花の回廊

私たち美術部は、小淵沢「リゾナーレハケ岳」にて、『花壇の回廊』のデザインから制作までに関われる機会を今回初めて得ることができました。敷く色とりどりのチューリップの花びらは本来は廃棄されてしまうものですが信じられないほど色鮮やかで、デザインは北杜市の豊かな大自然の風景をオオムラサキや野鳥などを主にして表現しました。一枚の花びらから一つの作品へと完成するまでの過程は、私たちが日頃絵を通じて表現するという楽しさを実感することができる良い体験となりました。(美術部 部長・村上碧 副部長・東 千晴)



総体を振り返って

私は、今回総体で一位を取る事ができました。この総体では、体力的な余裕を残すために、軽い重さで試合に臨みました。しかし、その考えは甘く軽い重量を知ったライバルが私よりも重量を上げ成功しました。軽めに出たのにもかかわらず私は失敗してしまい、大切な最初の1回目を落としました。そのため、自分の重量を挙げざるを得なくなりました。何とか一位を取ることこそできましたが、試合自体は自分の心の甘さが露出した悪いものでした。次の関東大会では絶対に油断せず気を引き締めて、試合に臨みます。しっかり自己ベストを取れば勝てる試合なので、今回の失敗を活かし、絶対に一位を取り、更に続く全国大会につなげていこうと思います。今回の大会は、自分を見直す良い機会でした。(ウエイトリフティング部 3-7 比嘉 龍)



イベントカレンダー



- 7月29日(土) 17時30分 ギター部 定期演奏会(長坂コミュニティ)
- 8月1日(火) ~3日(木) 防災ボランティア体験 (宮城県各地)
- 8月26日(土) 入試説明会 前半 9時~ 後半 9時50分~
- 10月7日(土) フェスタ杜のきらめき
- 10月13(金)・14日(土) 産業教育フェア出品 (県庁防災新館)
- 11月1日(水) 強歩大会

生徒会だより

第15回北嶺祭も終わり、生徒会本部役員の生徒も4月からの慌ただしい日々が一段落です。本校の生徒会行事や部活動も年々充実してきており、壮行会や運動会、学園祭も学校としてのまとまりのある良いものとなってきています。5月の山梨県高等学校総合体育大会では、昨年の男子総合8位を上回る5位入賞を果たしました。また、結果にはまだ表れませんが、着実に努力をして力を伸ばしている部もたくさんあります。本校では約8割の生徒が部活動に所属していますが、運動部・文化部を問わず、本校の雰囲気の良い方向へ牽引していることは事実です。さて、今年度の生徒会本部役員には二つのことを心がけています。一つ目は、生徒会本部役員である前に、北杜生として当たり前に行動ができる生徒であること。普段の学校生活はもちろん、校歌を歌う時は誰よりも大きな声で、挨拶も笑顔で元気よく。二つ目は、先生の指示通りに動くだけではなく、自分たちで行事を想像し考えて行動できること。この二つのことを胸に、14名の生徒会本部役員はここまで活動してきました。生徒会の3年生にとって残る大きな行事は7月の野球応援となりました。最後まで悔いのなきよう活動し、後輩たちに大きな背中を見せて欲しいものです。(生徒会主任 山本尉滋)



天下最強 北嶺祭！！



北嶺祭。それは北杜高校生にとって最大のイベントです。3月の生徒総会前から北嶺祭当日まで全校生徒一丸となって走りぬけてきました。北杜高校の学園祭は部門が多いのが特徴ですが、それを全て成功出来るのは全校生徒皆さんと先生方の協力があるからです。準備期間中などクラスの中で様々な意見が飛び、各担当者はまとめるのも大変だったかと思いますが、それも学園祭の思い出であり青春の1ページではないでしょうか。高校の学園祭は高校でしか経験できません。今しかできないことを大切な仲間と共に経験できる素晴らしい行事だと思います。学園祭で築いた団結力をこれからの学校生活で発揮して、さらに活気のある北杜高校にしていきたいです。(生徒会長 高安 美月)

